

4年数学 オリエンテーション (R2. 4. 28)

春休みに配った「スタート！」に大事なことはすべて書いてくれています。不安になったら読み直そう！



① 中学校との違い

高校の数学は、新しい概念・用語・定理がどんどん現れてきます。新しい事項を正確にかつ使える形で理解していくことが必要です。また計算量が大幅に増え、文字の使用が多くなり、抽象的になってきますから、答案の書き方では正しい推論によって、論理的に、また簡潔で、しかも厳密さを失わない記述をすること、つまり、結果だけでなく「推論の過程」が非常に重視されます。平常の学習の中で、どういう用語を用い、どんな風にかくとよいか、ということに常に留意しましょう。

※春休みの課題では△の人がたくさんいます。これから鍛えていこう。

参考のプリント「よい答案とは？」を配布します。

② 臨休中の課題の目的は「分からないところを明らかにする」ことです

教科書をじっくり読んでみて、大事なところを確認するとともに、理解できなかったところをチェックし、ふせんをつけておいてください。「質問です！」など書いておこう！

5月7日（延期になれば次に会う日）に臨休中の課題の成果物を提出してもらいます。

それについて数学科の教員が添削しコメント（アドバイス）をつけて返します。

③ 授業の進め方

学校が再開後、最初の授業のときに、各教科担当から説明します。

最初の授業では数Iの教科書、授業ノート、4STEP問題集、4STEP問題集ノート（臨休の課題にしています）、プリントを閉じるファイルを持ってきてください。数Aも同様です。



積み重ねを大事にしていこう！
今しっかりやっていることが次につながる！

④ 学習のアドバイス

ア 定義や公式を理解する

数学で使われる‘言葉’にはきちんとした定義があります。定義をしっかりと理解し、公式や定理の‘導き方’まで含めて覚えるようにしましょう。

イ 手と頭を働かせる

数学の問題は目だけで筋道を追っていくものではありません。鉛筆・ノートを用意して、手と頭を働かせ一行一行読み進めなければいけません。4STEPなど計算や考え方が省略されているところがあります。そこを自分で計算し、分からない部分は教科書、青チャートで調べ直して理解に努めよう。

しんどい時もあるけど、この積み重ねで強くなっていくよ。一緒にがんばろう。

ウ 考え方を身につける

何回も言いたいことですが、答えを導く過程を大切にしよう。これからの時代では未知の問題に出会ったときにも自力で解決の糸口を見つけられるような人材が求められています。数学を通して、力をつけていこう！

エ 計算力をつける

思考力と同時に重要なのが計算力です。時間を限って解くことが計算力の向上に有効です。計算のスピードは練習する量に比例して、速くなります。

☆4年生数学科は、小濱先生、中村先生、岡林先生の3人の担当者がいます。名前と顔を覚えて、もし質問があれば遠慮なく連絡してください。

☆本日説明したことや、もう一枚配布する「よい答案とは？」を参考に、臨休中の課題にしっかり取り組んでください。5月7日（延期になれば次に会う日）に提出です。

★<高等学校における学習支援コンテンツ>

文部科学省のサイトにアクセスすると幾つか参考が載っていますので、参考にしてみてください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00461.html#suugaku

★<城ノ内中等教育学校・城ノ内高校のサイト> 情報発信をしています。

<https://johnouchi-ss.tokushima-ec.ed.jp/>